



## 京都府 月桂冠(株)

## 『日本酒の米国、韓国、台湾等への輸出に繋げる空港免税店におけるブランド戦略』

【主な品目】

日本酒

【主な輸出先国・地域】

米国、韓国、台湾、イタリア、中国など

【輸出取組の概要】

- ◆ 明治期のハワイ・ホノルル(明治35年)を皮切りに、戦後も米国、台湾など世界に向け日本酒を輸出。昭和54年に専門部署の貿易部を設置。米国月桂冠(平成元年設立)、上海月桂冠(平成23年設立)を通じた輸出・販売にも注力。
- ◆ ここ数年増加している訪日外国人旅行者をターゲットとした、国際線発着空港の制限区域内における免税売店での販売活動を強化。

【輸出実績】 (明治35年から輸出開始)

	輸出量(kℓ)	出荷時期
平成29年度	約1,800	通年
平成28年度	約1,700	
平成27年度	約1,600	

【効果があった取組】

- 空港国際線での店頭試飲会
- 国際対応した商品パッケージへの変更

【取り組む際に生じた課題】

- これまでも、免税売店を通じた販売活動に積極的に取り組んできたが、外国人旅行者のニーズや嗜好も変化してきたため、新たな情報を加味して販売戦略を検討することが課題になっていた。

【生じた課題への対応】

- 免税売店において試飲会を実施し、販売促進と併せて消費者情報を収集。
- 「和」や「京都」をテーマに、パッケージ開発をするなどした専用商品を新たに開発。
- 平成28年1月には、原料米のすべてに京都府産の「祝」を使用した商品を発売。
- 平成29年10月には、樽酒のデザインを一新し、より高級感を感じられるパッケージにリニューアル。
- 付加価値が求められることから、「祝」・「山田錦」といった酒造好適米を使用した、高付加価値の酒質を選択。

【今後の課題・展望】

- 月桂冠の歴史や日本酒文化と併せ、京都の良さも伝えることで、ブランドのPRに繋げていく。
- 免税店の商品を購入した旅行者からの口コミを通じ、海外での月桂冠ブランドの浸透を図り、輸出数量の増加と高付加価値商品の販促を目指す。

【ウェブサイト】 <http://www.gekkeikan.co.jp/>

【連絡先】 担当者名:間瀬(貿易部)、TEL:075-623-2050

月桂冠 祝米  
純米大吟醸月桂冠 樽酒  
純金箔入り